

# 都市住宅学会関西支部 学生研究発表交流会 2023

発表交流会：2023年9月30日（土）14:05～17:00

（会場：大阪梅田ツインタワーズ・サウス UR 都市機構西日本支社 オフィス内

集合場所・受付：大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21階 UR 都市機構 オフィスエントランス）

発表する学生は13:45集合、その他の参加者の方は14:05までに来場・受付を済ませてください

## ■はじめに

都市住宅学会関西支部では、学生が最終的に論文をまとめる前に、さまざまな人との議論を通して自身の研究を深め、なおかつ相互の交流を進める場として「学生研究発表交流会」を例年開催しています。

今年度の発表会でも特にテーマを設定せず、会員に限定することなく学生の発表を広く募集します。現在取り組んでいる研究やこれから取り組む研究でも構いません。他大学の学生・教員、行政、企業の方などからアドバイスをいただき、交流する場です。学生の皆さんには積極的に応募してください。またゼミなどでご指導の先生方にはぜひとも学生に応募をお勧めいただき、またご関心のある研究室にも応募をお勧めいただきますようお願い申し上げます。

## ■都市住宅学会について

都市、地域、住宅の問題は、建築学、住居学、都市計画・社会工学、法学、経済学、社会福祉学、社会学、心理学、政治学など幅広い学術領域にまたがり、産官学などさまざまな立場の専門職が関わっています。当学会は、学問領域や立場を超えて、都市、地域、住宅に関する問題を広く議論・共有する目的で設立された学会です。

## ■学生研究発表交流会

□発表の手順について（**学生の発表申し込みは、締め切りました**）

(1) 発表を希望する学生は、A4用紙に概要を300字以上にまとめたもの（書式・段組み等について指定はありませんが、研究タイトル・背景・目的・方法・分析・考察に準ずる構成とすること、図表は適宜付加してよい、引用・参考文献リストを末尾につけること）をword形式もしくはPDF形式にてまとめ、E-mailに上記ファイルをメール添付して提出してください。この概要をとりまとめて発表会時の要旨集を作成します。応募の際のメールの件名は「学生研究小論発表・討論会2023応募」とし、メール本文には、名前（代表者ならびにグループ全員）、所属（大学・学部・学科）、学年、メールアドレス、電話番号、研究タイトルを明記してください。

応募締め切り：2023年9月18日（月）17:00 必着（E-mailにて）

提出先：都市住宅学会関西支部事務局（既に締め切りました）

（E-mail: [gakkai-west@urban-ii.or.jp](mailto:gakkai-west@urban-ii.or.jp)）

(2) 応募締め切り後、応募内容を参考にプログラムを決め応募者全員に通知します。開場では、ポスターを掲示してポスターセッションを行います。A1サイズのポスターを用意ください（パワーポイントをA4サイズで複数枚掲示する形式でも構いません）。

(3) 研究発表交流会では、ポスターセッションではまず各自数分の発表を予定しています（ポスターセッションとは別会場で、スライド投影の予定）。発表資料をご用意ください。全員の発表終了後、直ちにポスター発表会場にて、自由討論とします。

## □発表交流会当日のスケジュール（予定）

13:45 発表学生は大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21階  
UR都市機構 オフィスエントランスに集合

13:45-14:05 ポスター掲示・会場準備

14:05-14:35 特別講演『ニュータウン再生の最前線～真の公民連携とは～』高松俊氏（株式会社OpenA）

14:40-17:00 ポスターセッション・まとめ

17:20-19:20（予定） -17:00懇親会

## □応募資格

近畿地方（2府4県）の大学・大学院に在籍する学部生・大学院生（修士課程・博士課程）の個人もしくはグループ（学会員でなくても応募できます）

## □懇親会

発表終了後に会場下階のレストランスペースで軽食・飲み物を用意して、懇親会を行う予定です。学生のみなさんは参加費500円でご参加いただけますので、ぜひご参加ください。

## ■会場・アクセス

特別講演：UR都市機構西日本支社 オフィス内 [LINK](#)

ポスター発表：UR都市機構西日本支社 オフィスエントランス

集合：UR都市機構西日本支社 オフィスエントランス

<https://www.ur-net.go.jp/west/aboutus/index.html>

## アクセス

最寄り駅：JR大阪駅、JR北新地駅、阪急「大阪梅田」駅、阪神「大阪梅田」駅、大阪メトロ 御堂筋線「梅田」駅・四つ橋線「西梅田」駅・谷町線「東梅田」駅

※阪急、大阪メトロ御堂筋線・谷町線側（東側）にもEVはありますが、西側（シャトルEV）の方を推奨。JR大阪駅からの場合、中央改札から南下、地下1階へ。大丸百貨店の入口を過ぎ、阪神百貨店の入口を過ぎて、左手に「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」に入口あり。シャトルEVにて11階オフィスロビーへ。11階で乗り換えて21階へ。  
※「梅田ツインタワーズサウス アクセス」などでも検索ください。

住所：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号

大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21階

（連絡が必要な場合、080-4367-5248（関口携帯）までご連絡ください。）

## ■問い合わせ先

都市住宅学会関西支部事務局

E-mail: [gakkai-west@urban-ii.or.jp](mailto:gakkai-west@urban-ii.or.jp)

TEL 06-6359-1322 FAX 06-6359-1329

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーC 7

# 学生研究発表交流会の概要

## ■特別講演

### 講演タイトル：『ニュータウン再生の最前線～真の公民連携とは～』

講演者：高松 俊 氏（株式会社 OpenA）



**講演概要：**開設から 60 年近くが経つ泉北ニュータウン。ベッドタウンとして設置したため、少子高齢化や空き家の増加といった課題が一気に押し寄せ、日本の課題の縮図ともいわれています。その泉北ニュータウンにおいて、公民連携、市民協働型で数々の先進事例や成功事例が生まれ、エリア再生が進んでいます。泉北ニュータウンはなぜ再生できたのか、何がキーポイントだったのかを紐解きながら、昨今の「公民連携」とは？「まちづくり」の仕事とは？「エリアリノベーション」とは？といったキーワードを、仕掛け人として解説します。建築やまちづくりの界隈の仕事に興味がある方に向けて、働き方や暮らし方、またインプットアウトプットノウハウをぎゅっと詰め込んでお伝えします。

**講演者プロフィール：**株式会社 OpenA/公共 R 不動産/元堺市役所。1984 年生まれ。早稲田大学卒業後、堺市へ入庁、泉北ニュータウンの再生に従事。10 年の間に、公的賃貸住宅の住戸リノベーション、駅前地域のエリアマネジメント、シティプロモーション、住民主導型の公民連携事業の立ち上げ、関西初となる都市公園の Park-PFI 事業等を実施。現在は、OpenA にて全国の公園活用や建築物のリノベーション等に取り組んでいる。プライベートでは、農村部に馬を飼い、暮らしている。

## ■学生交流発表会

### ◎タイムスケジュール

13:45	大阪梅田ツインタワーズ・サウス 21 階 UR 都市機構 オフィスエントランスに集合、受付を済ませる
13:45～14:05	UR 都市機構西日本支社 オフィス内 LINK ルームに移動。発表学生はこの時間にエントランスにポスターを掲示
14:05～14:35	特別講演『ニュータウン再生の最前線～真の公民連携とは～』：高松 俊 氏（株式会社 OpenA）
14:35～14:40	(休憩 5 分)
14:40～15:05	研究概要の紹介・前半（奇数番の学生 5 分ずつ×5 人 LINK ルームにて）
15:05～15:45	ポスターセッション・前半（奇数番の学生がポスター前で質疑対応・オフィスエントランスにて）
15:45～15:50	(休憩 5 分)
15:50～16:15	研究概要の紹介・後半（偶数番の学生 5 分ずつ×5 人 LINK ルームにて）
16:15～16:55	ポスターセッション・後半（偶数番の学生がポスター前で質疑対応・オフィスエントランスにて）
16:55～17:00	まとめ・ふりかえり

17:20～懇親会

### ◎ 発表者・発表題目

NO.	名 前	所 属	タ イ プ
前半セッション 研究概要の紹介 14:40～15:05 ポスターセッション 15:05～15:45			
1	鎌崎壮馬	京都美術工芸大学 建築学部 建築学科	外観構成要素による連續性から見たまちなかの通り景観に関する研究
2	亀本夏稀	京都美術工芸大学 建築学部 建築学科	京都市における高経年マンションの管理実態が流通価格に与える影響に関する研究
3	東野将人	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	知的障害者グループホームの建て替えに伴う環境性能ならびに利用者の空間利用の変化に関する調査
4	牧野沙采	兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学科	須磨ニュータウンにおける戸建住宅・テラスハウスの更新に関する研究
5	稻田浩也	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	縮退期における数理的効率化手法を用いた公営住宅再編計画策定支援プログラムの開発
後半セッション 研究概要の紹介 15:50～16:15 ポスターセッション 16:15～16:55			
6	真田和奏	京都美術工芸大学 建築学部 建築学科	堀川団地における生活痕跡調査に基づく居住者による住空間改善行為に関する考察
7	笹谷匠生	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	自立支援型サ高住に住む高齢者はゼロから生活の場を構築できるか？
8	ZHAN HUI	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	サービス付き高齢者向け住宅における看取り・重度認知症の対応実態－平面構成に基づく分析
9	Junya MAO	大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻	Study on Changes in Stay Behaviors in Himeji Station Front Plaza North before and after COVID-19 Pandemic
10	丸山悠斗	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	剛体可視性分析：isovist を拡張した格子による見えかくれの記述